

学校の適正規模・適正配置に関する保護者アンケート（境小学校）調査結果

○調査期間 令和7年11月26日（水）～12月12日（金）

○調査対象 境小学校保護者 36世帯

○回答件数 38件

【分析結果】

アンケート結果は、学校統廃合に対する保護者の意向が単なる「賛成」「反対」の二元論では捉えきれない、複雑な様相を呈していることを示しています。特に注目すべきは、統廃合の是非そのものよりも、検討プロセス自体への意見が圧倒的多数を占めています。

1 学校統廃合賛成意見の分析

統廃合に「賛成」と回答した保護者の主な動機は、複式学級がもたらす教育環境への懸念に集約されます。

① 教育内容への不安

複式学級では「教師の負担が大きい」と感じており、その結果として教育の質に影響が出ることを懸念する声が上がっています。また、複数の学年が同時に授業を受けることで、「子どもが授業に集中しづらい」状況や、「子どもの学力や進学に影響がある」のではないかという将来への不安が回答されています。

② 教育環境の改善期待

統廃合により、学級規模の適正化や、より充実した教育内容が実現されることへの期待が示されています。

2 学校統廃合反対意見の分析

統廃合に「反対」と回答した保護者は、教育的価値、地域における学校の役割、そして市の政策との整合性という、多岐にわたる論拠を挙げています。

① 小規模校の教育的価値

現状の複式学級や少人数教育について「全く問題を感じていない」と回答し、「先生方のおかげできめ細やかな支援が実現している」と現状を高く評価する意見が多数を占めます。異学年交流がもたらす社会性の育成など、その教育的価値を積極的に評価する声も目立ちます。

② 地域コミュニティの核としての役割

「境小が無くなっては境地区が衰退する」という強い危機感が表れており、学校が地域コミュニティを維持するための不可欠な拠点であると認識されています。

③ 小規模特認校制度との根本的矛盾

境小学校が「小規模特認校」であるという事実が挙げられています。保護者からは、市が自ら推進してきたはずの制度に対し、「PR 不足・情報発信不足を自覚しているのに、統合に向けて話が進んでいるのがおかしい」と、政策の一貫性の欠如と努力不足を指摘する声が上がっています。統廃合の賛否を問うこと自体が、制度の理念を放棄する行為であるという意見が見られます。

3 複式学級に関する認識

小規模校および複式学級の評価は、保護者の間で見解が分かれる点ですが、現状を肯定的に評価する声が多数派を形成しています。

① 懸念を示す意見

一部の保護者は、複式学級における「教師の負担」の大きさや、それによる「子どもの学力への影響」を懸念しています。

② 現状を高く評価する意見

一方で、大多数の意見では、「全く問題を感じていない」と回答されています。具体的には、「先生方のおかげできめ細やかな支援が実現している」「異学年交流が良い効果を生んでいる」といった声が多数寄せられており、中には「かえって複式学級の方が良い」と、その教育的価値を積極的に評価する意見も見られます。

4 子どもへの影響に関する懸念

統廃合の是非にかかわらず、保護者が最も重視しているのは「子どもへの負担」です。環境の激変が子どもたちに与える影響について、具体的な懸念が数多く挙げられています。

① 心理的・社会的ストレス

新しい大規模な学校環境への適応やいじめに対する具体的な不安が表明されています。

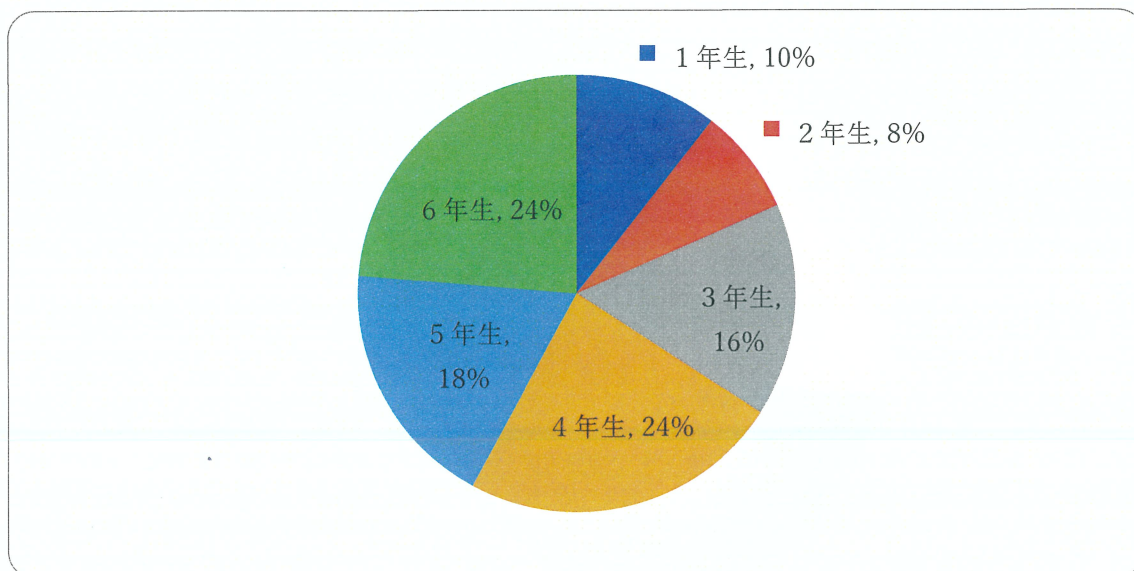
② 活躍機会の喪失

「少ない方が陸上大会にも抜擢されたり活躍できる機会に恵まれる」という意見に代表されるように、小規模校ならではの一人ひとりが主役になれる機会が失われることへの懸念が示されています。これは、自己肯定感の育成という教育上重要な観点からの指摘です。

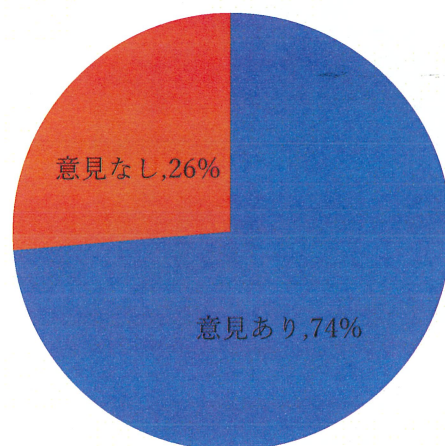
③ 学習・生活面での適応

環境変化が子どもの学習意欲や友人関係の構築に与える負の影響を心配する声も聞かれます。

1 お子様の現在の学年（兄弟姉妹で通学の場合は、最も年長の兄または姉を選択してください）



- 2 那須烏山市学校適正規模・適正配置等に関する答申（以下、「答申」）では、「学級数は12学級以上（各学年2学級以上）が望ましい。ただし、地域性等を考慮し、6学級（各学年1学級）を下限とする。」とされました。これについて、ご意見を伺います。

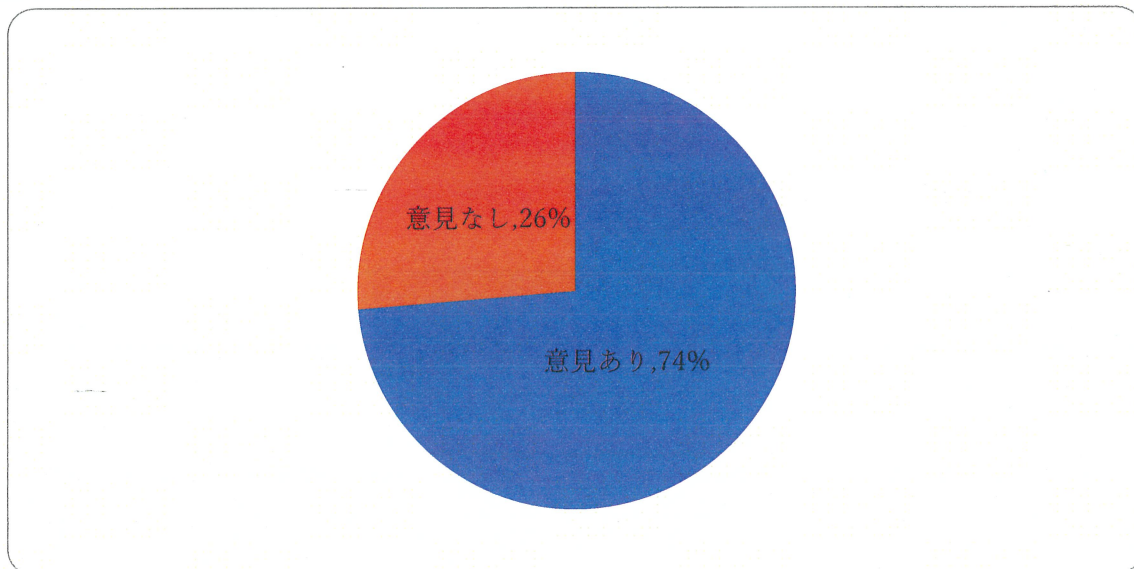


[意見]

- ・統合ありきではないことを前提として、答申で導き出された考え方について賛成します。
- ・将来人口推移を考慮し、市内1校複数学級を検討した方が良い。
- ・必ずしもそれがベストとは限りません。無理に合わせる必要もないかと思えます。実情に依拠しているのかしっかり検証したのでしょうか？
- ・現状の境小での複式学級の調査したわけではない。よその手引きを引用したものには当然、簡単に賛同できない。
- ・複式学級も良いところがある。一概に6学級が良いとも言えない。
- ・境小は独自の基準でもよい。
- ・地域性を考慮しつつ保護者との認識合わせが必要。
- ・境小に限っては、それに沿わす必要はないと感じる。
- ・いまの時代にあっていないので参考にもならない。
- ・境小の統合を推進する目的とした基準値設定に感じます。
- ・先生方の意見をお聞きしたい、判断材料が乏しい。
- ・少ないからこそその良さがある。・複式学級を受け持つ事が教員のスキルアップにつながるのでは。本市では境小でのみ貴重な経験ができる、悪いことばかりではない。先生方は前向きに良くやったださっているので学級の雰囲気がとても良い。一生懸命やったださっている先生方を評価してあげてください。
- ・現在の境小の規模が定着し問題を感じない。充実している。
- ・複式学級でも問題なし。授業参観で見ても現状問題なし、むしろ内容がとても充実している。
- ・ケースバイケース。

- ・ 下限とする、ではなく下限とすることが望ましいが適切。
- ・ 境小は小規模特認校なので論外。

3 答申では「1 学級 18 人程度以上を目安とする。」とされました。これについてご意見を伺います。

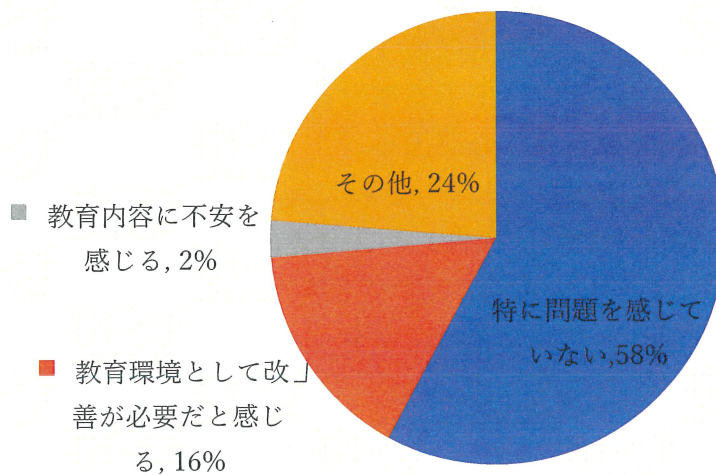


【意見】

- ・統合ありきではないことを前提として、答申で導き出された考え方については賛成します。
- ・それが望ましいとは思えない。
- ・必ずしも 18 人以上でなくても良いと思っています。
- ・「小規模校だからこそできるきめ細やかな支援により、子どもたちがもっているさまざまな力を伸ばすことができます」と那須烏山市教育委員会学校教育課作成の境小小規模特認校制度の案内に書いてあります。その通りです、先生方のおかげです。よって 18 人程度以上にこだわる必要はないかと思います。
- ・小規模ならではの良さがあるので論外
- ・回答拒否
- ・先生方の意見をお聞きしたい、判断材料が乏しい
- ・独自の基準を設け特色を出しても良い。
- ・無理に合わせる必要なし。小規模の良さを最大限に引き出すべき。
- ・今のように目が行き届かなくなる。人数が多いと保護者間の問題も起きやすい。
- ・全国には満たされない学校が多くある、どのように運営しているか調査せずに結論づけることに意義あり。
- ・あくまでも目安なので固執しなくてもよい。
- ・現在の境小の規模が定着し問題を感じない。
- ・中学校の授業参観、保護者が教室内に入りきらず、まともに見れない。境小は近くで良く見れる。多いのも一長一短有り。検討委員会では議論されましたか？

- ・その学校を希望して入学しているため、1 学級の最低人数は設けない。
- ・望んで、小規模認定校に来ているので、少人数の継続を希望。
- ・ケースバイケース。
- ・15 人以下がよい。私は新潟市のマンモス校（1200 人）育ちだが、大規模校がよいと感じたことは一度もない。授業中手を挙げることなどなかった。
- ・多くても保護者間、児童間のトラブルが出る。
- ・多いと自己主張の強い子に圧されてしまう、特に境の子は控えめで、やさしい子が多いので心配。少ない方が陸上大会にも抜擢されたり活躍できる機会に恵まれる。
- ・設備も余裕をもって使える。見るべき所、ちゃんと見てますか？失礼です。
- ・固執しなくてもよい、現状問題なし
- ・10 人以下でも問題を感じない。5 人位でちょうど良いかもしれない。
- ・境小の子が 18 人以上の学級に入ること、新たな問題が出る可能性も否定できない。検討委員会では議論されましたか？
- ・今位の人数で問題なく過ごせている。学年に関係なく関係を深められる。
- ・境小は小規模特認校なので論外。
- ・児童がしっかりと学べる体制であれば良いと思います。
- ・境小に限っては、それに沿わす必要はないと感じる

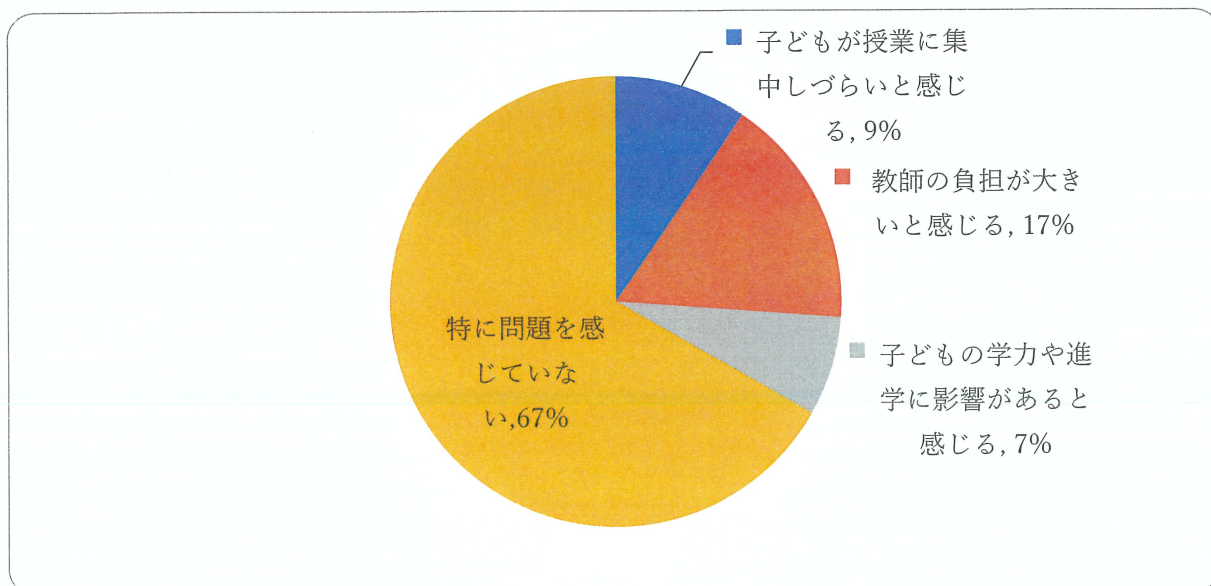
4 複式学級について、どのように感じていますか？



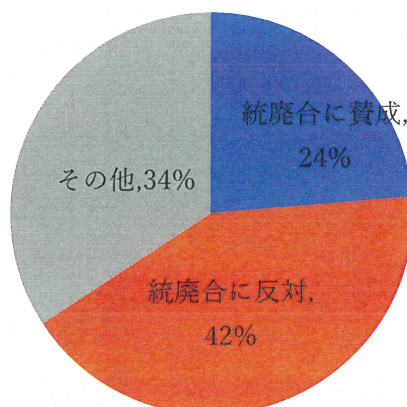
[意見]

- ・先生方は問題と感じているのでしょうか？先生方の意見を参考にお聞きしたい。
- ・問題を全く感じない、複式学級に限らず、問題は起こる。
- ・全く問題を感じていない、先生方のおかげです。
- ・良い部分が沢山ある。設問項目に「良さ」を加えるべき。悪い意見を引き出す意図がみえる。
- ・先生方のおかげで問題なく学級運営されている。全く問題はない。単式学級でも何かしら問題は出て先生方の負担になる事はある。
- ・先生方が、前向きに取り組んで工夫し努力してくださっているので、学級の雰囲気がとても良い。問題なし。
- ・全く問題なし。デメリットを強調する資料ですが。
- ・先生方に良くサポートしていただいているおかげで全く問題を感じていない。かえって複式学級の方が良い。
- ・とても良い、学年は違っても学校以外でも仲良く遊び、地域コミュニティーの維持に繋がっている。

5 複式学級の影響について、具体的にどのように感じていますか？ 該当する項目を選んでください。(複数回答可)



6 生徒数の減少や複式学級の解消を目的とした学校統廃合を検討することについて、該当する項目を選んでください。

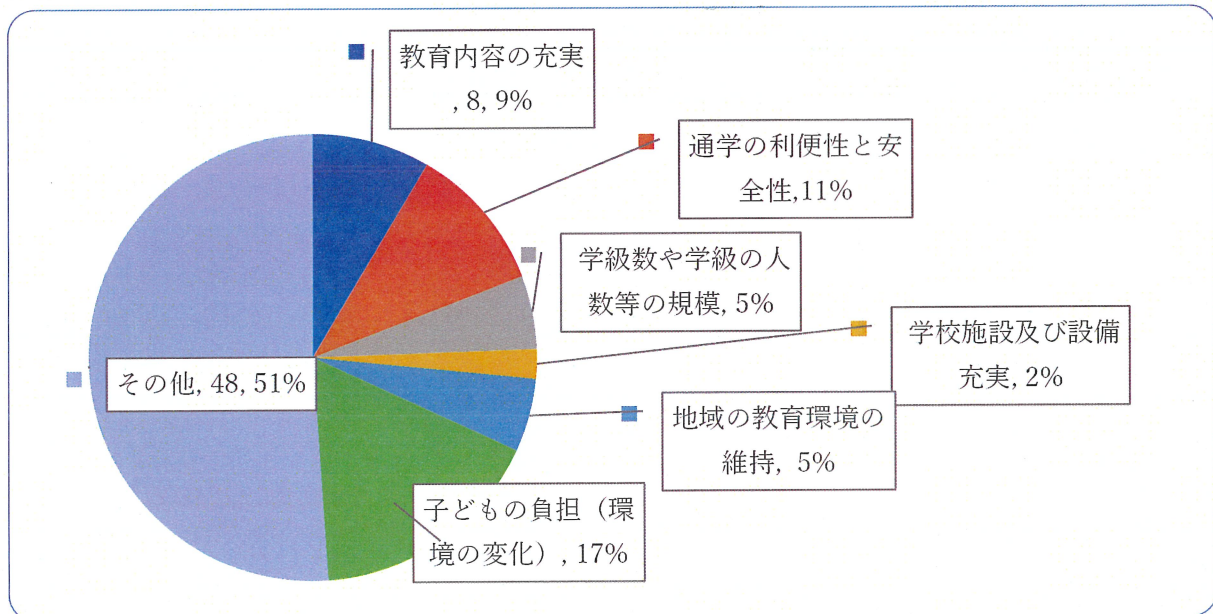


【意見】

- ・結論ありきの統廃合は反対。子供たちや地域、外部識者なども交えたワークショップなどで議論を十二分に尽くし、方向性を出すべき。
- ・現状、入学している生徒に関しては卒業まで同じ学校で卒業してもらえたらいいなと思っています。この代からは他の学校と統合となるとすれば、先を見通して入学から、1年生から6年間学校移動のないように配慮があるといいなと思っています。
- ・そもそも小規模特認校です。なぜ賛否を問うのか理解できません。
- ・回答拒否
- ・校長先生の意見を是非お聞かせ願います。
- ・行政コスト削減目的も隠さず説明するべき
- ・どちらとも言えない
- ・賛成とも反対ともまだ考えがまとまりません。
- ・センシティブな問題、単純に保護者に賛否を問うやり方に疑問有り。保護者間の議論の余地あり。
- ・境小に絞った質問なのか記述がない。賛成意見を多数集めるための設問ですね。
- ・整備が整えば、賛成。
- ・拙速、時期尚早 境小内で議論が尽くされていない 検討委員会には保護者の方々の意思が反映されてない。そもそも複式学級を解消目的とした小規模特認である。
- ・学校経費の合理化・削減・維持管理費の抑制・市役所内の業務軽減を何故目的に記載しないのでしょうか？それを書くとか何か都合が悪いことでも？

- ・ 境小の統廃合は反対（話し合いが不十分）
- ・ 今現在、複式学級の解消を目的に小規模特認校制度を実施している最中です。中途半端ではなく真面目に取り組むべき。
- ・ 他市町では市採用教員を配置し、実質複式学級解消を図っています。直ぐあきらめて、統廃合の賛否を問うのはどうかと思います。
- ・ 小規模特認校として真剣に取り組んだ結果であればどちらでも良い

7. 統廃合を進める場合、何を重視しますか？



【意見】

- ・地域の教育環境の維持，子どもの負担（環境の変化），小規模特認校としての在り方、地域コミュニティ。
- ・通学の利便性と安全性。学級数や学級の人数等の規模。子どもの負担。
- ・教育内容の充実。子どもの負担。
- ・通学の利便性と安全性。子どもの負担
- ・教育内容の充実。子どもの負担。地域コミュニティの維持。
- ・教育内容の充実。通学の利便性と安全性。学級数や学級の人数等の規模。学校施設及び設備充実。地域の教育環境の維持。子どもの負担。今後目指すまちづくりとの整合性
- ・教育内容の充実。通学の利便性と安全性。学級数や学級の人数等の規模。子どもの負担（環境の変化）。ジャージや上履き、学校指定品購入し直しの負担
- ・いずれも統廃合以前に重視すべき。当たり前のことではないでしょうか。
- ・統廃合は反対なので無回答とします。
- ・教育内容の充実。通学の利便性と安全性。学級数や学級の人数等の規模。学校施設及び設備充実。地域の教育環境の維持。子どもの負担（環境の変化）。職員的能力。子どもが烏小に馴染むか定かではない。保護者も同様。地域によって人の気質がまるで違うから。担当課職員の見て見ぬふりはやめていただきたい。
- ・逆に何を重視すべきとお考えですか？これらの回答項目は統廃合以前のごく当たり前の事です、ズレてます。
- ・誠意ある事前説明。いわゆる出来レースな統廃合ありきの回答で不満の残る意

見交換会であった。

- ・ 子どもの負担（環境の変化）
- ・ 地域の教育環境の維持。子どもの負担（環境の変化）
- ・ 当事者間の十分な議論（得に低学年&未就学児保護者）。行政側からの押し付けは言語道断。
- ・ 統廃合を進めることを前提とした質問。議論できない（回答拒否）
- ・ 統廃合を前提にした質問につき回答いたしません
- ・ 通学の利便性と安全性。学級数や学級の人数等の規模。子どもの負担（環境の変化）
- ・ 学校、保護者間の合意形成、十分な議論
- ・ 統廃合でつきまとう課題、問題を事前に解決してからの話です。事務的に統廃合を推し進めることに反対！
- ・ これらの回答項目はいずれも統廃合に関係なく重要な事ですが。強いて言うなら地域への負の影響を無視しないこと
- ・ 保護者、児童の心理的負担解消。回答項目に何故ない？いかにお役所的かが良くわかる、教員、保護者を交えアンケートを作るべき。職員に保護者の方いますよね？
- ・ 通学の利便性と安全性。子どもの負担（環境の変化）。災害が生じたときに、迎えに行くのに時間を要する。
- ・ 関わる人の声を聞いて慎重に進めるべき
- ・ 教育内容の充実、単にくっつけるだけでは、質が低下するだけ。鳥小は荒れていると聞くので子供がいじめにあわないか心配。
- ・ 境小保護者と未就学児保護者も交えた意見交換会を複数回しないと軋轢が生じる問題。もちろん子どもからも聞き取り必要。
- ・ 先生の声もお聞かせ願いたい。
- ・ 今、統廃合を考えるのは時期尚早。もう2～3年努力するべき。
- ・ ありとあらゆる角度から検証し、複式学級の是非を当事者同士で話し合う
- ・ 跡地利用など、丁寧な地元説明。統合先小学校での問題を事前共有、PTA活動の省力化。境小は保護者の負担は少ない方なので。
- ・ 統廃合ありきの質問なので回答に困る
- ・ まずは親同士の声、子ども達の気持ち。意見交換会では心を出しにくい。
- ・ 境小はせっかくの小規模特認校なので統廃合は論外
- ・ 教育内容の充実。通学の利便性と安全性。地域の教育環境の維持。子どもの負担
- ・ 地域コミュニティの維持

8 市に対して期待する教育環境改善の取り組みを教えてください。

- ・図書館、児童館等、子どもたちが安全に過ごせる場所がない。施設整備に力を入れてほしい。子どもたちのことを最優先に考えてほしい。体育館のエアコンと言い必要な設備を早急に整えてほしい。
- ・スクールバスの活用、教員の増員
- ・画一的でない一人一人に応じた教育支援・教育機会の提供。教職員への支援拡充
- ・学力と人間力の向上と地方創生の整合性やそのへんのバランス
- ・小規模特認校制度は今どうなっているのか、説明責任を果たすべきです。応援している保護者、地域の方をないがしろにするような進め方は絶対にしないでください！小規模特認制度を始める前の令和3年に境小と烏山公民館で説明会を開いています。
- ・市民ホール、公会堂など文化教育複合施設、体育館を庁舎より優先して作っていただきたいです。そのような声を多く聞きます。いずれも有事の際は避難所にもなります。
- ・新庁舎より、教育環境に予算を投入し市の魅力を高めていただきたいです。
- ・学校適正配置検討委員会 保護者に知らされず話が進み、新聞発表が先にされた。教育機関として如何なものか、期待するどころか不信感が募った。
- ・教員増員 先生一人一人の負担の軽減につながると思います。
- ・学校の顔である、境小入り口の看板が色あせて、みすばらしい地域の景観を損ねる市は見て見ぬふりでしょう。下野大橋のサビ、センターラインも消えたまま放置しかり。烏山小学校の駐車場は綺麗に舗装されていますが。
- ・夏休みだけでも教室解放し、低料金の公営塾を開設してはいかがでしょうか？多額の費用がかかる烏山駅周辺なんかに新庁舎を建設しようとせず、もっと私たちの身近な生活にかかわる細やかな所に税金を還元してください。
- ・那須南病院が存続危機となっています。最優先事業が新庁舎整備で本当に良いのか市民ニーズをしっかりと把握するためのアンケート調査をするべきです。教育に直結します。
- ・古い校舎ばかりなので、新しい学校を建設した上で統合して欲しいです。坂の上の通学などはやめ、徒歩であるなら1km以内など、それ以上はスクールバスなどをお願いしたいです。
- ・今回のような一方的な行政主導のやり方
- ・烏山小と統合した場合、児童保護者が全員、新たな環境に馴染むことができるのか未知数。実際境小から烏山中学校に進学した生徒はどうでしょう？色々耳にしますが。統廃合に賛同しなければよかったとなる可能性を払拭してからの話です。検討委員会ではそのような意見は出たのでしょうか？
- ・耐震性が保たれている境小は継続し有効活用しませんか。空き教室をフリースペー

スにし、地域の多目的交流室等にし児童と地域の方が身近にふれ合うことのできる環境を創造。時にはボランティアで遊びや勉強を見てあげたり、掃除を一緒にしたり、特色ある地域と一体となった魅力ある学校作りができる可能性がある。統廃合ありきで考えるのはいかなるものでしょう。

- ・意見交換会の教育長答弁、境小に教員増員、やる気があれば出来る事がわかりました。是非、境小を存続するため手腕を発揮していただきたいです。
- ・小規模認定校の継続と、誰でも入れるようにアピールをもっとすること。また、教員の増員。昨年度から今年にかけて、教員が減り、教員の仕事の受け持ちが増していることを感じるため。
- ・早急な体育館の冷暖房設置、教員の増員。
- ・小山市では学校適正配置のアンケートを未就学児の保護者、地域の方、さらには小中学校の教職員にも多種多様な質問と回答項目で行っています。どこかの行政とは大違いです、姑息なやり方で何が未来に羽ばたくですか。
- ・人口減少と少子化を肯定し人口誘引は無駄として何もしないのでは、那須烏山は本当に消滅してしまう。人口創生を目指す都会に負けない教育が魅力となり、移住したくなる教育環境を目指してほしい。少しはふるさと納税に真面目に取り組み、教育予算を確保してほしい。
- ・統廃合を、待たなくても烏山小に転校できるので、行きたい人は直ぐいけるよう案内してあげた方が良い。(選択肢を与えるため)
- ・今回の適正配置の件、仮に境小が統廃合の場合は跡地利用はどうなるのか説明必要。地域の拠点、避難所でもある境小、その後の管理はどうなるのか？民間に売却するのか？令和2年に騒ぎになった旧境小跡地では、市は地元説明会を開かず売買契約、所有権移転前に改修工事を許可といった地元住民に心配と不信を与える出来事がありました。市長も意見交換会に出席するべきでは？
- ・行政手続きのオンライン化や在宅勤務、AI技術の発達、人口に応じた職員数削減…いずれ使われなくなる新庁舎を多額の税金を投じて整備より、少子化だからこそ教育に投資し、人材育成にお金を使って欲しい。
- ・境小空き教室を利用し、「地域住民に身近な多世代交流型小学校」をコンセプトに揚げ、地域住民活動で児童や、多世代が交流できる機能を設け境地区の核として、地域活性化に繋げていただきたい。
- ・市としての考えを先に提示すべきだと思う。
- ・中学校の学生服、体操着をリーズナブルな価格で作って欲しい。セーラー服、学ランは時代錯誤では。買わせるのであれば、おしゃれで、低価格なものを。
- ・市内小中学校のホームページ写真掲載のガイドラインを設けるべき。以前、烏山小で修学旅行のバスの中の写真で、何人かの児童の寝顔写真がアップされていた。寝ている所、盗撮です。プライベート空間です。後にいじめに繋がる事も考えられます。

- ・冷暖房設備はしっかりと整えて欲しい。また、支援学級の生徒が安心して学び、社会参加につながる教育環境を整えるため、教員の専門性強化や適正人員確保、障害特性に応じた環境づくり、教材の工夫や時間割調整など合理的配慮、インクルーシブ教育として通常学級との交流授業、通学支援などを整えることで、支援学級の質に大きく左右されます。ぜひ積極的に取り組んで欲しい。
- ・以前と比べると挨拶ができる子が増えたように感じます、ありがとうございます。烏山小と統合は慎重に考えた方が良いでしょう。同じ地区に住んでいながらも接点がなくなり過疎化が進む中、地域コミュニティ維持が困難になる可能性がある。今の境小の規模だからこそ、児童同士と保護者同士の関係性が深まる。